

鳥羽商船高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	国語2
科目基礎情報				
科目番号	22101	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	情報機械システム工学科	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	常用漢字クリア、国語便覧、現代文学名作選			
担当教員	豊田 尚子			
到達目標				
1.国語常識として、基礎的な漢字の読み書きができる、語彙能力を高める。 2.近現代の文学作品の背景を知る。 3.古典の文学作品の背景を知る。				
ルーブリック				
評価項目1	理想的な到達レベルの目安 国語常識として、基礎的な漢字の読み書きができる、語彙を運用できる。	標準的な到達レベルの目安 基礎的な漢字の読み書きができる、語彙をみにつける。	未到達レベルの目安 基礎的な漢字の読み書きができない、語彙能力もない。	
評価項目2	近現代の文学作品の背景を知り、説明できる。	近現代の文学作品の背景をとらえることができる。	近現代の文学作品の背景をとらえることができない。	
評価項目3	古典の文学作品の背景を知り、説明できる。	古典の文学作品の背景をとらえることができる。	古典の文学作品の背景をとらえることができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	国語総合1に引き続き、低学年では、漢字学習などの基礎学力の向上を重視する。文化的教養として、一般常識のレベルでの国語常識を蓄積する。また、文章の意図を理解し、的確に説明できる文章作成能力を高める。			
授業の進め方・方法	1.授業の前半は漢字学習を中心に語彙力を高める。国語総合1の継続であるので、漢字プリントは、No.13から始まる。 2.授業の後半は板書を中心とした講義となる。授業で扱う資料も試験対象となる。 3.授業内容をふまえ、基本的にオンライン対応としない。しかし、授業は、毎回前回の復習から始めるので、欠席しても内容を把握することはできる。さらに、試験前など適宜、ダイジェスト版、試験対策版として学年に共通した動画を配信する。 4.試験対策版の動画から100%テストが作成されるわけではない。毎回の授業をリアルタイムで受けることが大切である。前項6で説明したように、欠席した場合は次の授業の復習の時間に情報を収集できる。また、チャットなどを活用して質問してもよい。 5.ただし、学校全体としてオンライン対応となつた時には、オンライン用の授業に変更することがある。			
注意点	1.漢字プリントは、目的と方法を意識して取り組むこと。まとめて提出をすることがあるので自分で管理すること。再発行はない。 2.ノートを取るのは当然の行為であるため、ノート提出の加点はない。 3.試験後の課題は重要な提出物となる。授業内に完成させて提出する。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	
		2週	漢字学習No.13 近現代文学史①	
		3週	漢字学習No.14 近現代文学史②	
		4週	漢字学習No.15 近現代文学史③	
		5週	漢字学習No.16 近現代文学史④	
		6週	近現代文学史まとめ	
		7週	前期中間試験	
		8週	試験の解答と解説	
後期	2ndQ	9週	近現代文学史⑤	
		10週	漢字学習No.17 近現代文学史⑥	
		11週	漢字学習No.18 近現代文学史⑦	
		12週	漢字学習No.19 近現代文学史⑧	
		13週	漢字学習No.20 近現代文学史⑨	
		14週	近現代文学史まとめ	
		15週	前期期末試験	
		16週	試験の解答と解説	
後期	3rdQ	1週	後期のガイダンス	
		2週	漢字学習No.21 近現代文学史⑩	

	3週	漢字学習No.22 近現代文学史⑪	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
	4週	漢字学習No.23 近現代文学史⑫	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
	5週	漢字学習No.24 近現代文学史⑬	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
	6週	近現代文学史まとめ	主要な作品を読み味わう。
	7週	後期中間試験	設問に正しく解答する。
	8週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
4thQ	9週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
	10週	漢字学習No.25 古典文学史①	漢字を学習する。 古典の文学史の全体を知る。
	11週	漢字学習No.26 古典文学史②	漢字を学習する。 上代の文学史を学ぶ。
	12週	漢字学習No.27 古典文学史③	漢字を学習する。 上代の文学史を学ぶ。
	13週	漢字学習No.28 古典文学史④	漢字を学習する。 上代の文学史を学ぶ。
	14週	古典文学史まとめ	上代の具体的な作品を資料として確認する。
	15週	後期期末試験	設問に正しく解答する。
	16週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	1	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0